

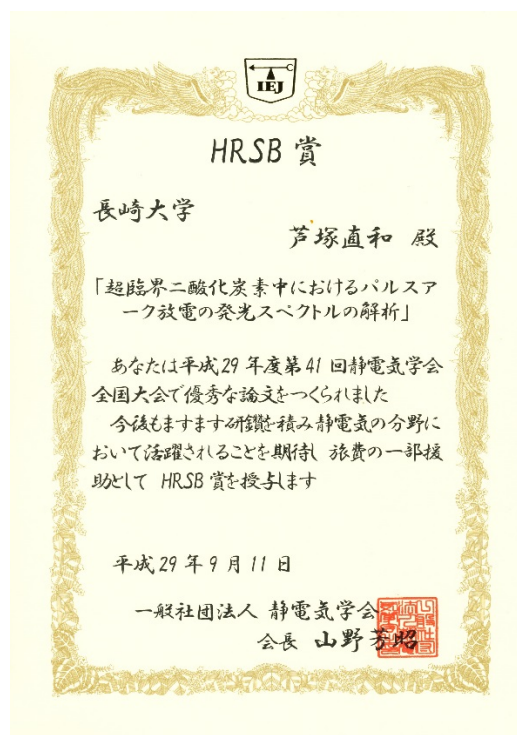
工学研究科 総合工学専攻 電気電子工学コース 博士前期課程 1年の芦塚直和君が
静電気学会全国大会で HRSB 賞を受賞しました。

2017年9月11-12日に関西大学で開催された静電気学会全国大会において HRSB 賞を受賞しました。

題目	超臨界二酸化炭素中におけるパルスアーク放電の発光スペクトルの解析
共著者	芦塚直和 ¹ , 古里友宏 ¹ , 蒲ヶ原健 ¹ , 喜屋武毅 ² , 佐々木満 ³ , 山下敬彦 ¹ 所属： ¹ 長崎大学, ² 近畿大学, ³ 熊本大学



(左)：文部科学省 浦島邦子 様
(中)：受賞者 芦塚直和 君
(右)：静電気学会会長 山野芳昭 様



HRSB 賞は、ヒロセ・ブランズ様からの寄付のもとに、若手研究者育成の一助として、当会会員のなかで、今後活躍が期待される若手研究者（原則として 30 歳以下）を対象に静電気関連の研究成果の発表に送られるもので、全体で受賞対象者は 1 名でした。本研究は超臨界 CO₂ 中で発生させたパルスアーク放電の発光スペクトルから、プラズマ温度やスペクトル種を解析し、それらの CO₂ 密度依存性を明らかにしたものです。本研究成果は、パルスパワー用大電力スイッチやナノ材料合成といった新規応用分野の発展に資することが期待されます。